

第7章

直して残す・育てるループ

AIが作ったものの「なんかちょっと違う」が、宝物です。

直して、残して、また頼む。

これを習慣にします。

直したところの差分を1つ残して、ループを1周回せたら、今日のゴールです。

動画7と一緒に使うノートです / AI FIRE部（佐藤彩佳・小川春香・亀山千晴）

この章の進め方

順	やること	使うもの
1	動画7を見る	動画7
2	第5章でできたものを、自分らしく直す	自分の手
3	差分を出して、残してもらう	プロンプト 7-1
4	「やってほしくない」を伝える	プロンプト 7-2
5	もう一度頼んで、ループを1周	プロンプト 7-3
6	今日のチェック	このノート

プロンプトは、このノートに全部のせています

「▼ここからコピー」～「▲ここまで」をコピーして、会社のフォルダを開いたClaude Codeに貼るだけです。

注意 はじめる前に

いつも、会社の**大元のフォルダ**（特典①で作った「AI秘書」フォルダなど、いちばん上のフォルダ）を開いてから始めてください。部署のフォルダの中ではなく、いちばん上です。

1 「いい感じに直して」ではなく、直した版を見せる

直した版を貼って「差分を出して」

AIは、何が「いい感じ」なのか分からないんです。だから、**あなたが直した版を見せるのがいちばん早い**。どこをどう直したか、自分で説明しなくてOK。差分（違い）は、AIが出してくれます。

残す場所は3つ

- 1 ルールのファイル（CLAUDE.md）
- 2 取扱説明書（ABOUT_ME.md）
- 3 スキル

「保存して」と伝えれば、適切なところに保存してくれます。

💡 ポイント

- **最初は30点～40点でいい**
直すたびに、点数が上がっていきます。
- **AIには、遠慮なく全部言ってい**
人に「ここ直して」と言うのは気をつかうけれど、AIは、やり直しを頼んでも気まずくならないんです。
- **「やってほしくない」も、理由と一緒に**
ルールにしてもらいましょう。

2 できたものは、3つに分けて見る

そのまま使える

それでOK。

いつもよりよい

「これを基準にスキルを更新して」。

ダメ

どこが、なぜダメなのかを言葉にして伝える。

💡 ポイント

- **最初の2～3週間が、いちばん効く**

直すところが多いということは、育つところも多い、ということです。

- **日報に残す**

終礼で書く日報に「今日やったこと」「今日直したこと」と「それをどこに残したか」が入るようにしておけば、そのまま育てた記録になります。

- **毎週金曜の終礼で、3行だけ書き足す**

①先週より楽になったこと ②3回やったのに、毎回頼み直していること（CEOが「スキルにしてい？」と聞く） ③直したのに、まだ残していないこと（CEOが「残してい？」と聞く）。くわしくは第9章で。

3 直して、差分を出して、残す

まず、第5章でできたものを、あなたらしく直してください。言い回しを変えたり、いらないうところを削ったり。思うままで大丈夫です。

7-1 差分を出す（同じ会話の中のとき）

▼ここからコピー

さっきの下書きを、私はこう直しました。
（直した版を貼る）

あなたの下書きとの差分（違い）を出してください。

- ・何を足したか／何を削ったか／何を言い換えたか
- ・そこから分かる「私の書き方のくせ・大事にしていること」

次から同じように書けるように、この差分を、どこに残せばよいか（ルール・ABOUT_ME.md・スキル）を考えて、残してください。話し方や書き方のくせはABOUT_ME.md に足してください。

残したところを見せてください。

▲ここまで

新しい会話や /clear のあとは、下書きも一緒に

▼ここからコピー

あなたが作った下書きと、私が直した版です。

【あなたの下書き】

（ここに貼る）

【私が直した版】

（ここに貼る）

2つの差分を出して、上と同じように残してください。

▲ここまで

彩佳 「私の返信の仕方」というファイルを育てています。

ジーニーの下書きを私が直して、差分を足してもらう。

取引先へのメールの下書き、最初は**4か所も削っていたのが、数日後には1か所直すだけ**になりました。初めての相手には、まだしっかり直すこともありますけどね。

4 「やってほしくない」を伝えて、ループを1周

7-2 「これはやってほしくない」（理由も一緒に。第2章の「わが家のルール」と同じ）

▼ここからコピー

今後、（やってほしくないこと）はしないでください。
理由は（理由）です。
適切なところに保存してください。

▲ここまで

彩佳 たとえば「**1通に、用件を詰め込みすぎない**」。用件がいくつもあるときは、【】で見出しをつけて短くまとめてもらっています。理由の説明と、こちらの準備のアピールを1通に混ぜると読みにくいし、私は好きじゃなかったんですね。何度も同じところを直していたので、1行足しました。

7-3 「直したよ」（仕事のたびに使う短い版）

▼ここからコピー

さっきの下書きを、私はこう直して使いました。
（直した版を貼る）
あなたの案との差分を出して、関係するスキル（または書き方のメモ）を更新してください。

▲ここまで

✓ 確認 **もう一度、同じ仕事を頼む**

前より直すところが減っていたら、**ループが1周**です。アイデアが出てなくなったら「もっと私らしくするには？」と聞いてみるのもおすすめ。

彩佳 1週間分を読み返してもらったら、「直したのに、まだ残していないこと」が見つかりました。止まっていたのは作業より、「**私が一言決めるのを待っているもの**」だったことも。AIを育てているなあ、という感覚になりました。

5 よくあるつまずき / 今日のチェック

😞 よくあるつまずき

● 残し忘れる

作業の最後に、毎回「必要なら、メモかスキルに残して」とひとことそえるクセを。私も最初は、自分で直してそのまま送っていたので、直すところが減りませんでした。

● 「なんか違う」のに、どこか言えない

大丈夫。それを言葉にするのはAIの仕事です。直した版を貼るだけで、差分の中からクセを見つけられます。

● 全部直すのが大変

全部直さなくていいんです。たとえば、スライドの最初の5枚だけ直して覚えてもらい、残りを直してもらうこともできます。

● 「できません」と言われた

「やり方は必ずあるはず。調べて」と返す。ダメなら、ChatGPTやGeminiに「どうしたらできる？」と聞いて、答えを貼るのも手です。

今日のチェック

- ☐ 第5章でできたものを、自分らしく直した
- ☐ 7-1で差分を出して、残してもらった
- ☐ 「やってほしくない」を1つ伝えた（なければOK）
- ☐ 7-3でスキルを更新して、もう一度頼んだ

1周回せたら、もう育て方は分かっています。次の章では、カレンダーなどのサービスと、AIをつなぎます。

直して終わりにしないコツは、[特典②の4ページ目](#)（失敗4）にもあります。

6 AIと一緒に進める

STEP 1 ノートを入れる

AIに読ませるノートのページで

「ダウンロード」を押し、Claude Codeの入力欄の左下の「+」で「AIに読ませるノート_第7章.md」を選ぶ。

STEP 2 ひとつを送る

このノートを読んで、第7章と一緒に進めて

STEP 3

AIが1つずつ聞いてくれるので、答えるだけ。直した版を貼ると、差分を出して、残す場所と一緒に決めてくれます。

💡 ポイント

- 「+」でうまく入らないときは
同じページの「全部コピー」を押して、入力欄に貼り、そのまま送ってもOKです。
- ノートのページ
<https://aifire-note.pages.dev/>

😬 止まったら

- スクショを貼って「この画面で止まっています。次に何をすればいい？」と聞く。
- それでもだめなら[質問箱（会員用LINE）](#)へ。
24時間以内にお返事します。